

2023年7月27日

第14回 日本語交流プログラム 海外参加校 決定

公益財団法人 博報堂教育財団は、第14回 日本語交流プログラムに参加する海外校の決定について、本日発表しましたのでお知らせいたします。

- 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、世界12ヶ国から12校が本プログラムの参加校として選出されました。(※別紙参照)

■ 当事業の目的

当事業は、日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、海外の生徒と日本の生徒がお互いの理解を深め、「文化の異なる人と、社会的課題に向かってともに行動できる人」への成長のきっかけとなる場の提供を目指したプログラムです。

■ プログラム概要

海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ生徒と引率する教師が来日し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、日本の文化・社会体験などを行います。また、海外校来日の前後にも、オンライン交流および講座を実施します。

■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、出国税・空港利用税・査証代、日本滞在中の宿舎・食事・活動費(研修費・交通費などを含む)、海外旅行保険の付与など

■ スケジュール

実施日程: 2024年5月8日～5月21日(予定)

※このプログラムに参加する海外生徒を引率する日本語教師を対象とした事前研修を2023年11月13日～12月1日(予定)に実施予定

※各国の感染症拡大状況等によっては、当プログラムの全てまたは一部を延期・中止することがあります。

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、スリランカ日本語教師会、東海大学(台湾)、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、児童および青少年の健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。以降、「子ども・ことば・教育」を活動領域ととらえ、さまざまな活動を行っています。

50回を超える開催となった児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」に加え、「海外の子どもたちの日本語教育支援」「世界の子どもたちとの日本語交流」「社会啓発事業(子どもたちの読書機会拡大)」さらに「こども研究所」などの活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報堂教育財団

日本語交流プログラム (担当: 伊吹)

TEL. 03-6206-6266 FAX. 03-6206-6582

E-mail: hakuho.gn@hakuhodo.co.jp

第14回日本語交流プログラム 海外参加校一覧

所在地	学校	引率教師
イギリス	ベリー・セイント・エドマンズ・カウンティー・ハイスクール	サリー・ワットン
インド	SMT.C.B. アーダルシュ ヴィディヤ マンディール校	アメヤ・アジャイ・パタキ
インドネシア	中村学校	アル ラシド・ハイルン
スペイン	サント・トマス・デ・ビジャヌエバ中学校	マリア・テレサ・ベラルテ・ルケ
スリランカ	ラージャシンヘ学校	ニルミニ・ヴィダヤーダリー・マンチャナーヤカ・コーバラ・ヴィターナゲ
タイ	ピッサヌローク ピッタヤコム学校	ワチラポン・プーンケーソン
トルコ	ヤシャム タサルム オクラリ	エスラー・クルンチュ
ハンガリー	フンファルビ・ヤーノシュニ言語教育貿易経済専門高校	ニエシュテ・ジヨルト
ブラジル	ミラソウ学園	ソフィア・サオリ・サガエ・カジ
マレーシア	トロピカーナ中等学校	ワン・ノルシャズワニ・ビンティ・ワン・モハメド
モンゴル	エレデミーン・ウンダラー統合学校	トゥブシントウグス・エンフプレブ
ルーマニア	イオン・クレアンガ高校	イワナ・アタナシウ・バナール